



みんなで看板つくったよ♪ 園児手作りの看板が 完成しました！

糸 満南こども園では、園児一人ひとりが「やりたい!」を発揮できる環境づくりに取り組んでいます。その一環として、昨年の5歳児クラスの園児が名付けた園舎北側の遊び場である「サンダンカどおり」。これまでの簡易な看板が雨風で見えにくくなったことから、新たに園児達の手によって看板が制作されました。「サンダンカどおり」の看板は、色塗り、文字、デザインなど制作の大半をでいご組の園児たちが主体となって完成させました。園児たちからは「色塗りが楽しかった」や「かわいくできた」といった制作時の感想が聞けました。金城百合香先生は「卒園した後もいつでも見に来て、自分の成長を感じることができ、心の宝物にしてほしい」と話しました。



高嶺小学校4年生が参加 沖縄水産高校でかまぼこ製造 体験実習を行いました！



沖 縄水産高校食品科学系列の実習内容や施設を小学生に伝えることなどを目的とした、水産加工食品製造体験(かまぼこ製造体験)が同校実習室で行われました。実習では、高嶺小学校4年生54人を招き、高校生がかまぼこ作りの説明や、実際の製造体験を指導しながら行われ、高校生からは「小学生と一緒にやってみて、どうしたら伝わるのかを考えて教えるのが難しかった」という声や、高嶺小学校の児童からは「かまぼこ作りを初めてして楽しかった」や「自分で作ったかまぼこはとても美味しかった」という声が聞けました。



絵本の力でこころを豊かに 第18回絵本のひろばを 開催しました♪

中 央図書館で「第18回絵本のひろば～絵本の力でこころを豊かに～」が開催されました。この取り組みは、子どもたちが本に親しむきっかけづくりや、子どもの読書活動に取り組む人たちの交流などを目的に開催されています。今回の講演会では「4コママンガで遊ぼう」と題して、沖縄タイムスに4コマ漫画を連載している大城さとしさんを講師に迎え、4コマ目のセリフ当てクイズなどを行い、4コマ漫画の魅力が伝えられました。大城さんは「アイデアを出すためにはいっぱい遊ぶことや勉強も必要です。新聞や本などをたくさん読んでください」と話し、参加者からは「今日は楽しかった」「地域の有名な方を身近に感じることができてとてもよかったです」といった感想が聞けました。第18回絵本のひろば読書標

語の表彰式では、玉城莉桜さん(三和中3年)の「1冊で 広がるぼくらの 可能性」が最優秀賞に選ばれました。玉城さんは「本をよく読むのでこの賞をもらえてうれしいです」と話しました。



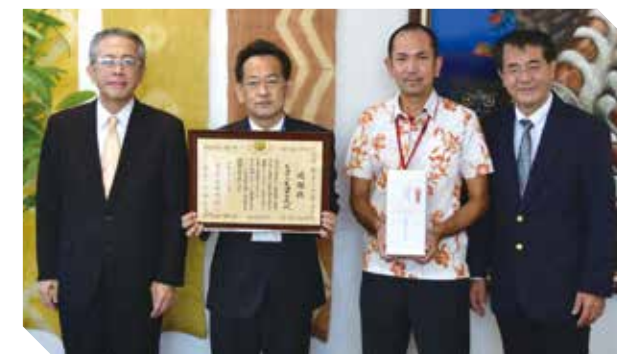
糸満市経済団体協議会から いとまんプレミアム商品券の 寄贈がありました！



若 者のワクチン接種率の向上と、コロナ禍で苦しむ地域経済の活性化に役立ててほしいと、糸満市経済団体協議会から、いとまんプレミアム商品券の寄贈がありました。糸満市経済団体協議会の東恩納博会長は「若年層の接種が遅れている状況で、接種率向上に向け役員会で話し合ったところ、プレミアム商品券を提供することになりました。接種率向上や地域経済活性化のために有効に活用してほしい」と話しました。



糸満中学校へ 国税庁官感謝状の 贈呈式が行われました！



租 税教育の推進や推進のための基盤整備など、他の模倣となる活動を行っている学校および教育委員会などに贈られる、租税教育推進校等感謝状が糸満中学校に贈られました。糸満中学校については、租税教育活動に長年力を入れて取り組んでいることなどが評価され、国税庁長官感謝状の贈呈に至りました。感謝状を受けた大城直之校長は「今後も租税教育や作文などを通して、国民・市民・消費者として生徒に学びを提供できるようにしていきたい」と話しました。